



からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

- ◆ 自ら考え、判断し、行動する
- ◆ 真理を求めて深く学び続ける
- ◆ 目的意識を持ち多様な人々と協力する

【重点目標】 自己を振り返り、学びをつなぐ生徒

「自律」「探究」「協働」の実現をめざして

全校生徒 222 名、教職員 32 名で令和 2 年度がスタートしました。今年度、原町二中は、新しい学校教育目標「自律 探究 協働」の実現をめざして教育活動を進めます。社会の変化や学習指導要領の改訂、生徒の実態等を踏まえ、昨年度、約半年をかけて教育目標の見直しを行いました。

「自律」とは、自分で考え、判断し、行動すること。「探究」とは、問題をどうやったら解決できるのか、あるいは、何が正しいのか、真理を求めて深く学び続けること。そして、「協働」とは、共通の目標を達成するために、自分と考え方の違う人たちとも協力していくことです。

今、世の中には、新型コロナウイルスに関する噂やデマやフェイクニュース等の不確実な情報が流れています。それらに惑わされず、何が正しいのかを自分で考え、判断し、自分にできることを実行する。そして、自分の健康はもちろん、大切な家族や友達や学校生活を守るために、年齢や立場や考え方の違いを超えて協力していく。それが大事なことだと思います。こんな時だからこそ、生徒達に「自律的に行動する力」「真理を求めて深く探究する力」「共通の目的のために多様な人々と協働する力」を身につけてほしいと思います。

教育目標に対して、重点目標というものがあり

ます。教育目標は長期的な視点で設定しますが、重点目標は、学校の経営資源を重点的に投入し、単年度での達成をめざします。昨年度は、「進んで学び合い自らの考えを深める生徒」でした。生徒を対象にした授業アンケートの結果からは、約 8 割の生徒が話し合いや学び合いを効果的に活用していることがわかりました。

学び合いが機能してきた一方で、課題も残りました。授業アンケートを見ると、どの学年、どの教科においても、「まとめと振り返りが不十分」という結果が出たのです。そこで今年度は、「自己を振り返り、学びをつなぐ生徒」を重点目標としました。一人一人が、**授業を振り返り、学んだことを「次の学習」や「他の教科」、「社会や日常」と関連づけて考えることによって知識と知識がつながり、学びが深まる**のではないかと思います。そして、なぜ学ぶのか、学んだことがどのように役立つのかを実感することによって、**学びのエンジンが駆動する**のではないかと思います。

